

高岡教区教務所 電話 0766-22-0887 FAX0766-21-5152

メール info@takaoka-hongwanji.jp

### ◇第八回第二連区（中部・北陸）仏教壮年高岡大会

去る七月七日、第二連区（富山・石川・福井・岐阜・東海・高岡教区）主催の第八回第二連区（中部・北陸）仏教壮年高岡大会を前門様ご臨席のもと、富山県高岡文化ホールにおいて開催した。

当初、参加者人数は約五百名を予定していたが、西日本を中心とした大雨のため、被害が迫まっていることから、百名を超える方が欠席となり、その方々の想いも汲むなか開催することとなった。

テーマは、昨年の高岡教区仏教四十周年記念行事に続き、『いのちの大切さを次の世代へどう伝えるか』と設定し、特に子ども世代（若年層）で社会問題化する「生きづらさ」に焦点をあてた。

記念講演は、NPO法人京都自死・自殺相談センター代表の竹本了悟さんに、「念仏者として自死の苦悩にどう向き合うか」との講題にてお話しいただいた。講演の中で、死にたい気持ちを抱える人に何ができるのか、の問いに阿弥陀さまの大きいお慈悲のなかにあつて“温もりを伝える”こととお示しをいただきました。

アトラクションは、南砺平高等学校郷土芸能部の皆さんにお願いし、「四つ竹節・こきりこ・早麦屋・麦屋節」を披露、体験実演コーナーもあり大会参加者には大好評であった。



### ◇矯正教化連盟名古屋管区支部連絡協議会開催

去る六月十一日十二日の両日に於いて浄土真宗本願寺派矯正教化連盟名古屋管区支部連絡協議会研修会・総会が東海教区主催にて開催された。

本会は第二連区に相当する教区に於いて、受刑者の教誨活動を行う教誨師と事務局の研修と意見交換を目的に開催されるもの。

今回の研修会は日本最大の拘置所である東京拘置所の施設見学を主とした研修が行われた。

拘置所とは、主に裁判を受けている最中で判決が確定していない未決囚や死刑判決が確定した死刑囚を収容する施設であるが、東京拘置所には一部判決が確定した受刑者も服役しており、施設内部は他の刑務所とほぼ変わらないものであったが、複雑な建物構造や多重セキュリティの連絡通路などセキュリティの厳重さは他の刑務所よりもさらに徹底しているという印象であった。

服役囚は他の刑務所と同様に日中は労務作業に従事しているが、未決囚は原則単独房で読書などをして過ごしているということであった。宗教教誨をはじめとする宗教施設も完備され、仏教系の教誨室とキリスト教系の教誨室の両室があるほか、学校の体育館のような施設ではステージに格納式の仏式の荘厳が設けられ、花祭りなどの宗教行事を行っているとのことであった。

施設見学の後は質疑応答の時間が設けられたが、施設説明や見学の際にも死刑囚関連の設備や死刑囚のことについては触れられなかったため、参加者から執行室などについての質問があったが、具体的なことは答えられない、との回答であった。後日判明したことであるが、当時、麻原彰晃（本名・松本智津夫）死刑囚をはじめとするオウム真理教関連の死刑囚が収監されていたため、その影響があったのではないかと思われる。

## ◆第一回まことの保育研修会が開催

六月三十日、西本願寺高岡会館礼拝堂にて、本年度第一回目のまことの保育研修会が開催され九十名を超える保育士・教諭が参加された。ご講師には「高校生からの仏教入門」の著者である小池秀章先生（龍谷大学非常勤講師）をお招きし『浄土真宗のみ教えを学ぶ』と題して、教区内の保育士・教諭に丁寧なわかりやすくご講演（法話）をして頂いた。

前半には、「浄土真宗を学ぶ姿勢は知識を身につけるのではなく、み教えを通して自分自身を振り返ることを大切に、保育士・教諭の方々が浄土真宗のみ教えをよりどころに生き、子どもたちと共に仏様の方を向いて育ち合って欲しい。また、仏教の根本原理は縁起といっても過言ではなく、みんながつながり合っていて、「私は私以外のものが全て含まれるような尊い命」であり、私の命もみなさんの命も一匹の虫も一本の草も：みんな等しくかけがえのない命を生きている。それが、さとの世界（お浄土）で、それぞれがそれぞれに光り輝く世界である」とお話しをされた。

後半には、「私（自分）の力で“さとの世界”を目指すのは、なかなか難しいが、仏様のはたらきに導かれながら、少しずつさとの世界に導かせていただくことが浄土真宗であり、自分中心（迷い）の生き方をこまかさず、正しい見方ができていない自分だからこそ、み教えを聴き、正しい方向を目指して生きて欲しい」とお話しをされた。

教区保育連盟では、保育士・教諭の皆さんに、南無阿弥陀仏のお念仏を通して阿弥陀様のはたらきを学び、日々の園生活の中で、まことの保育を実践していただくため、今後も法話による研修会を続けていきたいとしている。次回は一月下旬の予定。

## 西本願寺高岡会館 永代経法要のご案内

下記の通り高岡会館の永代経を勤めます。お誘いあわせてお参りください。

日時：7月20日（金）

日中—午前10時

速夜—午後1時半

法話：高岡教区布教団布教大会

日中； 林 要順氏  
（砺波組明覚寺）

伏間彰彦氏  
（射水組妙万寺）

速夜； 養宇 理氏  
（糸岡組光顔寺）

杉谷淳志氏  
（川上組瑞泉寺）

※お昼にお斎（お弁当）を準備しております。午前・午後あわせてお参りください。

## ★「大阪府北部を震源とする地震」被害の対応について

六月に発生した「大阪府北部を震源とする地震」については大阪府を中心に多くの寺院やご門徒の皆さまが被害をうけられました。ここからお見舞いを申しあげます。宗派も「たすけあい運動募金」を窓口で義援金の受付を開始しておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。教区といたしましては、災害対策委員会の議を経て、「義援金」や「支援金」の募集はせず、教区の特別会計からお見舞金を支出し、大阪教区にお届けすることといたしました。

また、このたびの「西日本豪雨（仮称）」により、甚大な被害が広範囲に出しておりますが、現在進行中でもあり、教区の対応としては、後日、災害対策委員会を開催し、対応を検討することといたしました。教区の対応が決まり次第皆さまにお伝えいたしますので、ご協力いただきますよう宜しくお願いいたします。

高岡教区教務所長 西岡孝了

## 平成30年度 「教区賦課金」 納入について

5月当初、各ご寺院様宛に教区賦課金の告知書を送付させて頂きました。  
納入期日は告知書に記載してありますように前期分が7月25日、後期分が12月25日迄となっておりますので早期の納入をお願い致します。尚、今年度の教区賦課金は2017（平成29）年度の宗派賦課金の120%が依頼額となっております

## 全戦没者を悼み平和を願うつどい 2018

テーマ『日本主義を支えた浄土真宗』

日時 8月7日（火）

午後1時30分～4時

会場 西本願寺高岡会館1F礼拝堂

内容 第1部 全戦没者追悼のつどい

第2部 平和を願うつどい

講師 中島 岳志さん

（東京工業大学教授 政治学者  
専門：近代思想史）

演題 「戦前の親鸞思想は、なぜ国粹主義につながったのか」

※近日中に、各寺院様にチケット並びにちらしを郵送いたしますのでご参加ください。

## ◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

運動に「ありき」はありえない

先月二十九日、宗派からの依頼に基づき「高岡教区 重点プロジェクト推進のための学習会」が、「具体的な平和貢献策として取り組む、宗門重点プロジェクトの実践目標へ貧困の克服に向けて」Dana for World Peace〜子どもたちを育むために〜を推進するため」との主旨のもと、教区役職者四十四名の参加を頂き開催されました。

当日は、この計画立案に関わった二つの宗門機関の出席者から、それぞれ「重点プロジェクトの改訂にかかる経緯と内容・その推進のための取り組みについて」と『念仏者の生き方』に学び行動するために・具体的な平和貢献策としての実践目標』について説明され、それに対して参加者が質問を行う形で約二時間半にわたって行われました。

私が特に印象に残った質問は、概ね次のような内容だったと思います。「この実践目標は、昨年十一月に降って湧いたように、しかも『宗門統一目標』として示された。これまでの『教区や組の主体的な取り組みとしての【実践目標】』からの大転換を、こんな短期間に、さらに新年度に入ったこの時期にこんな説明をしているというのは唐突な感が否めない」

「二年前の『平和に関する論点整理』から導かれた『実践目標』というが、手続きに問題は無いか？」

「門徒推進員の立場からするとコロナと運動が変わることに不信感がある。宗門の戦後問題は怎么样了ですか？」

「何故、貧困を生み出す社会構造や政治を問題にしないのか？」

「何百億円もの募財を行っておきながら『ワンコイン』を謳うことに矛盾はないか？」

残念ながら、それらの質問に対して、私が理解、納得できる応答はありませんでした。今回の学習会は全教区で開催されていますが、そこで出された意見や疑問は今月二十四日に開催される中央委員会で集約・報告があるとのことですので、ひとまずは注視しておきたいと思います。

今、政治の世界では国の認可を巡って、その審議や行政手続が『結論ありき』で進められたのではないか？』との疑いで、ある事案が注目されています。同じ様に、もし、「私たちの教区や組でワンコイン募金や子ども食堂、おやつクラブを行う」ことを最初から結論としていたとしたら：。あるいは、その様な活動を「教団の社会へのアピール」を目的として行うとしたのなら、「平和」という課題も、公聴会や学習会という手続きも、全ては「口実」ということになってしまいます。本来の「目標」を見失わないことこそが、私たちの運動を「信仰運動」たらしめるのだと、あらためて実感した次第です。

かつて被差別の立場にある方々から問われた「それが親鸞聖人の教えなのですか？」という声から、「信心の社会性」が宗門の課題として掲げられました。それは同時に、私たち一人一人の「教えの頂きぶり」と「信心」を回復していく道筋であることが示されていた訳ですが、今もってなおそのテーマは普遍的に輝いているように思われます。

◇これからの日程（7/14～8/25）◇

7月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座	
17		門徒推進員世話役会
18		ダーナバザー実行委員会
19		寺女役員会
20	会館永代経	
21		仏壮育成研修会
22		仏婦真宗入門講座
23		ヤスクニ委員会
25		仏婦教材委員会 長寿苑ビハーラ
26	聖典セミナー（第4回）	
27		関野組朝の法座（～28）
30	児童念仏奉仕団（～31）	布教団研修会
31		情報教材委員会
8月		
1		寺青役員会
7	全戦没者を悼み平和を願う つどい2018	
14	常例法座 教務所盆休み（～17）	
20	聖典セミナー（第5回）	
21	得度修礼講習会（～22） 於：福光教堂	
23		ブロック講社大会（～24） 於：磯はなび
25		ブロック保育大会

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前6:15～6:25

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎7/21（土）：季平 博昭氏

（本願寺派布教使・広島県法光寺住職）

「音楽に触れる楽しさ」

□7/22（日）：未定

（富山教区）

◎7/28（土）：松野尾 慈音氏

（本願寺派布教使・愛知県明願寺住職）

「お浄土の働き」

◎8/4（土）：松野尾 慈音氏

（本願寺派布教使・愛知県明願寺住職）

「強い出会いと深い出会い」

◎8/11（土）：松野尾 慈音氏

（本願寺派布教使・愛知県明願寺住職）

「活動の自由な広がり」

□8/12（日）：杉谷 淳志氏

（高岡教区川上組瑞泉寺）

◎8/18（土）：松野尾 慈音氏

（本願寺派布教使・愛知県明願寺住職）

「メロディーに込められた思い」

☆お知らせ☆

「法輪せんべい」販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（175袋） 8,300円

・1組（10袋） 500円

お申込み先は・・・高岡市東上関446 高岡教務所内

（寺族青年会担当）

Tel.(050) 5587-7708(代表)

Fax.(0766) 21-5152

【西本願寺高岡会館8月の常例法座】

ご講師： 重松 守氏

（富山教区）

ご講題：『私の歩むみち』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。